

上尾市市民活動支援センター情報紙



むすびん

令和3年
10月
第42号

〒362-0075 上尾市柏座一丁目1番15号
TEL : 048-778-1810 FAX : 048-778-1820 E-mail : s53500@city.ageo.lg.jp

令和3年度 公開講座を開催します。テーマは 「オンライン会議のコツ・ノウハウを習得しよう！」

コロナ禍の影響で直接会って会議を行うことが難しくなり、オンライン会議の必要性が高まりました。オンライン会議をスムーズに進めるための知恵やノウハウを学びます。

開催日時：令和3年**11月26日(金)** 13時30分～15時30分

開催方法：オンライン（ZOOMを使用）


対象：市内で、市民活動・地域活動をしている人、関心がある人

定員：15人（事前申込み先着順）

参加費：**無料**

申し込み：**10月26日(火)～11月16日(火)**、住所・氏名・年齢・電話番号・メールアドレス(必須)を直接または電話、ファクス、メールで、市民活動支援センターへ ※月曜は休館です。



時間	内容	講師・ファシリテーター
第1部 13:30 ～ 14:30	講演： オンライン会議のコツとノウハウを習得しよう！ ～ZOOMを使ったオンライン会議の手法について～	秋本 創 さん  NPO法人埼玉情報センター 事務局次長
第2部 14:30 ～ 15:30	交流会：ZOOMでつながる交流会 ○コロナ禍での課題と対策 ○情報交換 ○お悩み相談など	

会議室の空き状況をツイッターでお知らせしています

「会議室を予約したいけど、空いているかな？」
と思ったときにお役立てください。市民活動支援センターのツイッターに毎週日曜日の午後、直近1週間の会議室の空き状況をアップしています。

※会議室の利用には、事前に団体登録が必要です。

※予約は市の公共施設予約システムからおこなってください。



公式ツイッター

今週の会議室の空き状況Qをお知らせします。

※こちらは 2021年〇月〇日 日曜日現在の情報です。



月日	曜日	【空き状況】○：空きあり ×：空きなし	【空き状況】		
			午前 9～12時	午後 13～17時	夜間 17～21時
〇月〇日	月	休館日			
〇月〇日	火		○	×	○
〇月〇日	水		×	×	×
〇月〇日	木		○	×	×
〇月〇日	金		○	×	×
〇月〇日	土		×	×	○
〇月〇日	日		×	×	

アゲリンピック

～4年に1度の祭典を満喫しよう！～
上尾地域リハビリテーションネットワーク
(所管課：高齢介護課)

★アゲリンピックを開催します！

日時：11月27日(土) AGEO
10時～10時30分(オンライン)

コロナ禍の新しい生活様式に沿った介護予防を提案する本事業。オリンピックイヤーの今年には、「フレイルを予防して、いつまでも、元気な体を手に入れよう！」をテーマに、上尾市初の運動のオンライン祭典『アゲリンピック』を開催します。ユーチューブでライブ動画を見ながら、いろいろな種目(体操)にチャレンジしてみませんか。見逃し配信もあります。
※詳細は広報あげお11月号をご覧ください。



こちらを
チェック ↓



視聴はQRコード、または下記URLより
URL：<https://youtu.be/jtRj7yrXTDk>

あげおリトルベビーハンドブック作成事業

認定特定非営利活動法人彩の子ネットワーク
(所管課：健康増進課)

★あげおリトルベビーハンドブック作成中！

小さく産まれた赤ちゃんを育てている母親や家族に寄り添った『あげおリトルベビーハンドブック』は、認定特定非営利活動法人彩の子ネットワーク、小さく産まれた子どもと家族の会「一歩」と健康増進課の3者で、新生児医療に携わる医師ら専門家から助言や情報提供を受けながら現在作成中です。

出生体重1,500g未満の極低出生体重児を対象に成長や発達の個人差に配慮した記録ができるほか、先輩ママやパパ、助産師、看護師等からの応援メッセージ、市の支援サービスなどの情報を掲載して、今年12月までの完成を予定しています。



■ あげおアッピーガイドの会 ■ 研修会を開催

8月31日(火)、市民活動支援センターであげおアッピーガイドの会が研修会を行いました。講師に上尾市まなびすと指導者の赤石光資さんをお招きし、『中山道・上尾宿』について、資料を使って分かりやすく解説していただきました。

中山道での上尾宿の役割や皇女和宮の輿入れの際、休憩に利用した本陣や脇本陣の場所など、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、上尾宿に関わった人物として、大相撲の立行司である三代目式守伊之助の名前を挙げ、現在、遍照院に祀られているという逸話に、みな驚きの声をあげていました。

会長の峰澤さんは「上尾の中山道は一番重要な場所であり、面白いところを追求していくとさらに面白い発見がある。メンバー全員がガイド役を出来るようスキルアップを目指したい」と話しました。日頃から見聞を広める努力をしているみなさんの活躍が楽しみです。



▲熱心に聞き入る参加者

■ 上尾マジッククラブ ■ 『親子でマジック体験』を開催

上尾マジッククラブが9月26日(日)と10月3日(日)、市民活動支援センターで『親子でマジック体験』を行いました。初回は小学生親子4組9名、2回目は4組11名が参加し、2本のひもを使った“あっちこっちロープ”や包装紙を使った“マジック紙鉄砲”など、全部で4種類のマジックに挑戦しました。はじめは緊張気味だった子どもたちも、マジックのやり方(ちょっとしたコツ)を教わると、待ちきれずに練習する姿が見られました。父親と参加した男の子は「楽しかった。うちでもやってみる！」と嬉しそうに話してくれました。

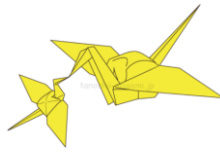


▲マジック紙鉄砲を教わる親子



連鶴を折る会

設立 平成20年4月1日
 会員数 17人
 代表 本城 文夫さん
 連絡先 090-2452-2164



連鶴を折る会は平成20年4月に発足しました。代表をつとめる本城さんは現在74歳。元号が昭和から平成へと変わり、当時住んでいた福島県郡山市の本屋で、連鶴に出会いました。解説本のきれいな装丁に惹かれ、手に取ってみると、何羽も連なった鶴に「何だこれは!？」と驚いたといひます。

連鶴とは、一枚の紙に切り込みを入れて、多数の鶴を切りはなさずに折るものです。江戸時代に三重県桑名市にある長圓寺の住職が考案したといわれ、2羽から最高97羽まで49種類を展開することができます。

以来すっかり連鶴に魅せられ、独学で習得。定年後は、コミュニティセンターで講習会を開いたり、指導をおこなうなど、鶴を折らない日がありません。

現在、60～70歳代を中心に17名のメンバーが月1回、連鶴の技法を学んでいます。

取材した日のお題は「楽々波(さざなみ)」。4羽の鶴がくちばし同士で繋がりがいい、なんとも微笑ましい連鶴です。紙の切り込みが深すぎたり、つなぎ目がちぎれないよう、どのメンバーも真剣な表情で手を動かします。

連鶴は、机の上に置いて作るより手に持ったままの方が形を整えやすいこともあり、本城さんは立ったまま連鶴を折り上げていきます。あっという間の手さばきでまるでマジックを見ているかのようです。想像以上に指の力を必要とし、指先を使ったり、切り図の展開も予想するので「認知症予防になる」と本城さんは笑います。発足時からのメンバーで最年長の男性(85歳)は「こういった交流の場があるのは大変ありがたい」と話し、女性の一人も「毎回ノートに記録して家でも練習しています」と笑顔を見せていました。

本城さんは「一から紙を切るところから、出来上がるまで本当に集中力が必要。そうして完成させた喜びや達成感を味わってもらいたい」と話しました。



▲作品を手にして笑顔のみなさん

※撮影時のみマスクを外しています



市民活動支援センター入口に展示中

米寿のお祝い

ピアスキットを使って揺れるブローチに仕上げたり、色紙に貼って敬老のお祝いにするなど、飾り方次第でいろいろなアレンジができるのも連鶴の魅力です。

また、海外でも人気の折り鶴。本城さんは旅行に行く際、ポケットに折り紙を入れて持って行きます。現地の人やツアーガイドに目の前で連鶴を折ってあげるととても喜ばれ、年代や国籍を問わないコミュニケーションツールとなっています。人々が繋ぎあっているようにも見える連鶴が、人と人とを結びつけてくれているようです。



連鶴を折る会では、展覧会などの作品づくりにも取り組み、互いに向上を図っています。来年7月に開催されるコミュニティセンターの合同作品展に出展する予定です。



連鶴を留めたダンディな帽子がトレードマークの本城さん。現在「100年鶴(36500羽)を制作中。

【楽々波】さざなみ

～唐崎の松は花よりおぼろにて
 晴れぬ思いの心さざなみ～

連鶴には作品ごとに名前が付けられ、恋の狂歌が添えられています。





イベント・ボランティア掲示板



※掲載中のイベントは中止になることがあります。事前にお問い合わせください。

■ 市民活動体験教室 ■

「はじめの一歩」

～紙芝居体験教室～



紙芝居 やぎさん一座の皆さんから紙芝居の作り方や演じ方を学びます。実演を体験する絶好の機会です。ぜひご参加ください。

日時：11月27日(土)13時30分～15時30分

場所：市民活動支援センター会議室

対象：どなたでもOK

定員：10名(申込み先着順)

費用：無料

講師：紙芝居 やぎさん一座 代表 八木 実さん

申込：11月4日受付開始 市民活動支援センター

■ 原市沼のジュズダマ差上げます ■

原市沼の蓮池では、ハトムギ科のジュズダマがたくさん実ってきました。ジュズダマは、お手玉やミサンガ、首飾りなどに使えます。採取もできますので、関心のある方は是非お越しください。

期間：10月17日(日)～10月24日(日)

時間：9時～12時(開錠しています)

場所：原市沼の蓮池(ニューシャトル沼南駅付近)

問合せ：原市沼を愛する会

☎ 048-774-8094(飯坂さん)

✉ iizakayj@sirius.ocn.ne.jp



■ 子ども服交歓会を開催します ■

「おおきくなったね!」×「おおきくなってね!」

うれしい気持ちをつなげたい

子どもが成長して着られなくなった

洋服を子どもから子どもへ。

洋服は無料でお預かりし、

無料でお渡しています。



開催日：(事前予約制)

① 令和3年11月14日(日)

② 令和4年 1月23日(日)

場所：文化センター ホワイエ

申込：認定NPO法人 彩の子ネットワーク

☎ 048-770-5272

✉ office@sainoko.net

■ 市民活動相談会を開催します ■

～あなたの力を地域のために～

「ボランティアをしてみたい」

「活動先を探している」

「知識や経験を活かして活動してみたい」

そんな方のための相談会を行います。

日時：令和4年1月14日(金)・15日(土)

各日10時～18時(受付は17時まで)

場所：市民活動支援センター 交流サロン

問合せ・申込：市民活動支援センター

事前予約制です。
まずは、ご予約ください



◆ 編集後記 ◆ 秋の雨、8月下旬から10月上旬は「すすき梅雨」、11月下旬から12月上旬は「山茶花(さざんか)梅雨」とも呼ぶそう。風情ある呼び名にもかかわらず記録的大雨情報が頻繁に発令される昨今。ハザードマップで避難準備も怠りなく。
(明・枝・直・悦)

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています!

◎ 編集・発行 上尾市市民活動支援センター



開館日：火～日 午前9時～午後9時(日曜は午後5時迄)

休館日：毎週月曜、火～金の祝日、年末年始

電話：048-778-1810 ファクス：048-778-1820

Eメール：s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ：www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/

ツイッター：@Ageo_shiminkatu



第3次上尾市市民活動推進計画

検索

【案内図】



公式ツイッターで情報発信中!
フォローお願いします<(_ _)>

情報紙タイトル“むすびん”は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつけたいという思いを込めています。